

経営比較分析表（令和6年度決算）

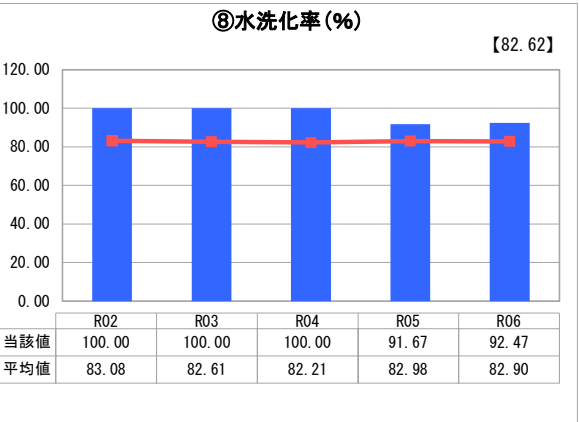
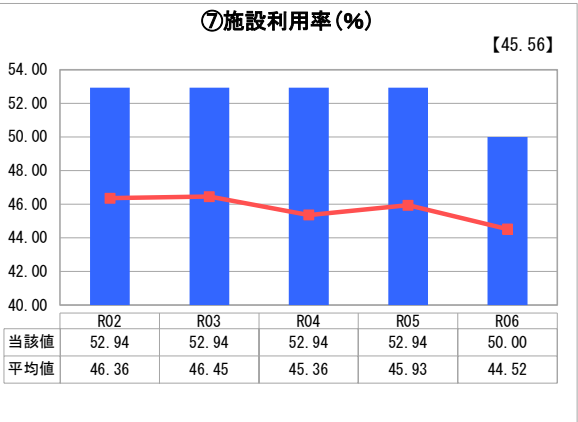
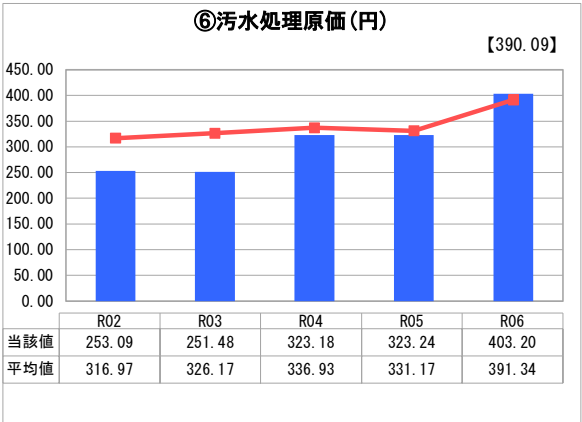
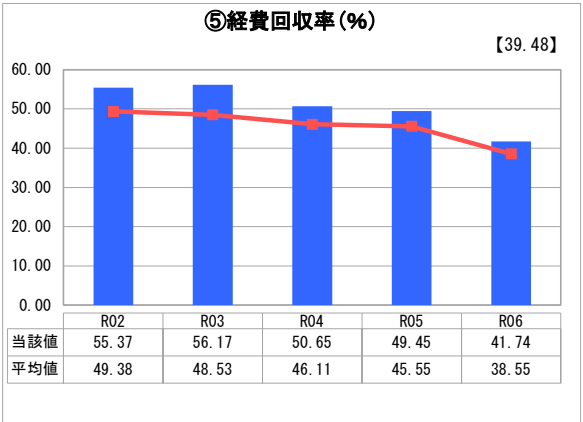
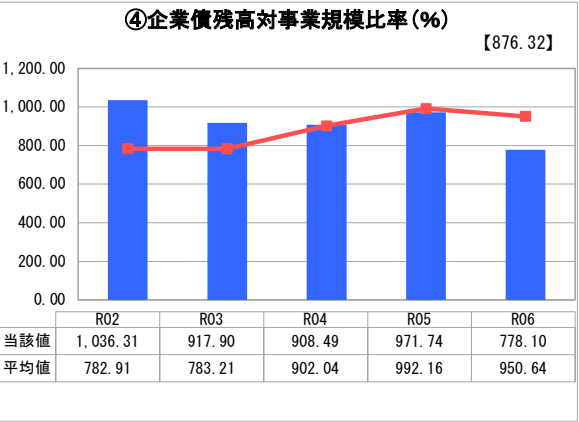
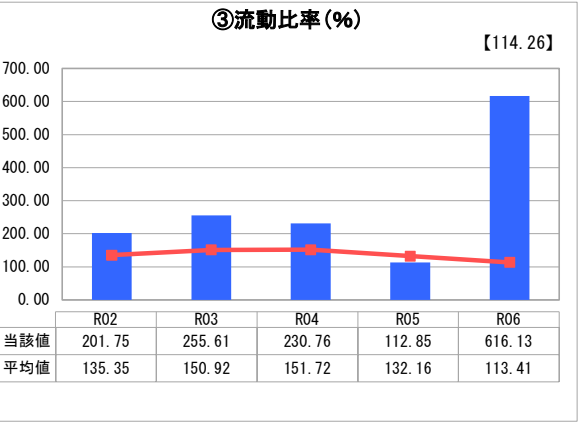
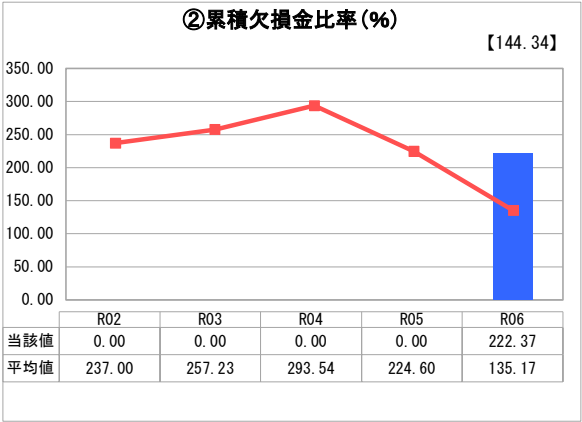
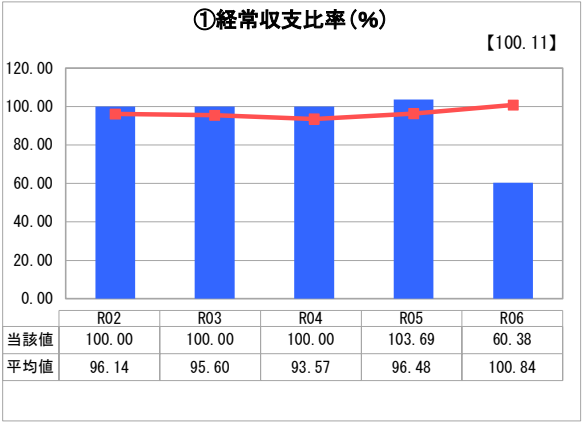
石川県 中能登町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.79	2.35	100.00	3,300

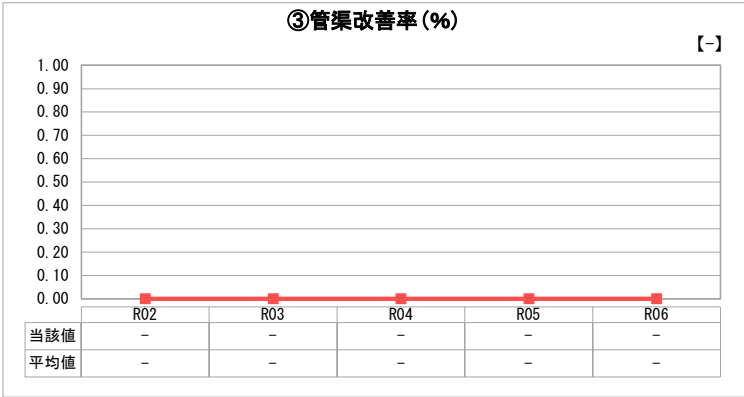
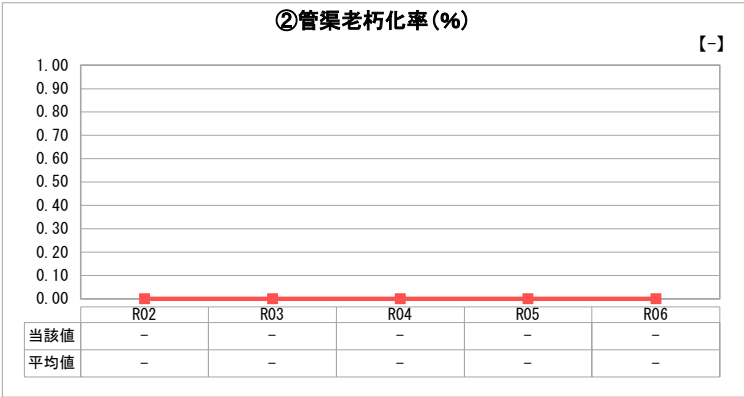
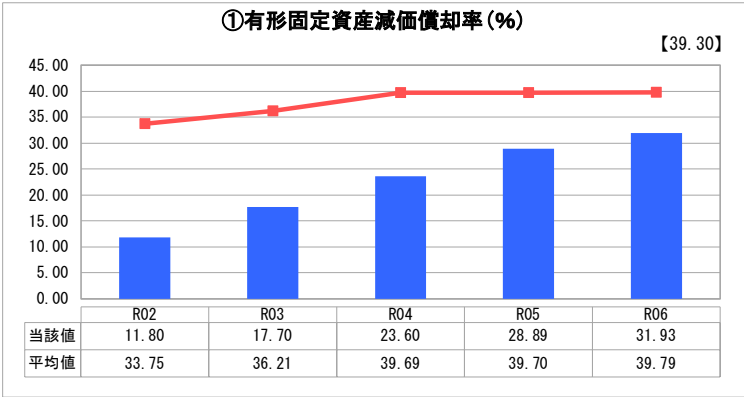
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,529	89.45	184.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
385	0.05	7,700.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
当該指標は60%と低めの指標となり、使用料収入や一般会計繰入金等の収益でもって費用を賄っていないため、経営改善に向けた取組が必要である。
- ③流動比率
流動負債の大半を占める企業債の償還金に対し、不足する財源を一般会計繰入金や下水道事業資本費平準化債で賄っている状況である。
- ④企業債残高対事業規模比率
これまで急速な下水道整備を進めてきたことにより多額の企業債残高を抱えている状況であるが、現在、償還のピークは過ぎ緩やかに減少傾向に向かっている。
- ⑤経費回収率
汚水処理費の削減に努めることにより、経費回収率の向上を図る。
- ⑥汚水処理原価
現在まで高い水準で推移してきているが、今後も人口減少による有収水量の減少が見込まれることから、水洗化率の向上と維持管理費の削減に努めなければならない。
- ⑦施設利用率
今後の汚水処理人口の減少を踏まえ、適切な施設規模となるよう管理運営に努める。

2. 老朽化の状況について

現状では耐用年数に近いものはない状況である。

全体総括

資産にかかる減価償却費や償還金が支出の大部分を占めている状況である。
今後とも確実な料金収入の確保、包括的民間委託などによる維持管理費の縮減に努め、経営改善を図ることとしている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。